

## 医科学（Ⅱ）

コーディネーター：口腔医学講座（関連医学分野） 千葉俊美教授  
 担当講座（分野）：口腔医学講座（関連医学分野）、口腔顎顔面再建学講座（歯科放射線学分野）、医学部各講座

第5学年 前期・後期

講義  
 前期 30 コマ 45 時間  
 後期 12 コマ 18 時間

### 教育成果（アウトカム）（講義）

高齢化社会となり、生活習慣病などの増加により動脈硬化性疾患や糖尿病などが増加して疾病構造に変化がみられる。また医科診療では高度先進医療や新しい治療法（薬物療法や非薬物療法）が導入されている。主要内科疾患の病態生理、最新の治療法やガイドランの基本的知識、内科救急対応の基本的知識を習得することで、このような高齢化社会に対応できる歯科医師が養成される。また、心臓血管外科、頸動脈内膜剝離術、肝臓移植など外科系手術の概要と腎臓透析、骨粗しょう症、皮膚疾患、眼科疾患、周産期医療など口腔医学の観点から歯科診療上重要な疾患の病因・病態と診断・治療を学び、災害時の医療や個人認識、EBM とガイドラインやクリティカルパスなど最新の情報についても理解することで、口腔と全身の関わりを理解するとともに全人的医療の一環としての歯科医療人が育成される。（ディプロマ・ポリシー：3、4、6、8、9）

### 事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

### 講義日程

（講義時間：90分（4限：13時～14時30分、5限：14時40分～16時10分））

【講義室：歯学部4階第2講義室】

月 日	担当者	ユニット名	医歯学連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
4月20日 (火) 4限 (13:00～14:30)	千葉俊美教授	1. 先天性心疾患と感染性心内膜炎と予防	ユニット5 歯科診療に影響する疾患	口腔（歯科）診療を行う上で必要な先天性心疾患と感染性心内膜炎の病態と予防を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 先天性心疾患の主要な病態、症候、診断 2. 感染性心内膜炎の主要な病態、症候、診断 3. 感染性心内膜炎予防のためのガイドライン [E-6-②]	先天性心疾患、Fallot 四徴症、チアノーゼ、感染性心内膜炎、レンサ球菌感染症、敗血症、弁膜症、抗菌薬
4月20日 (火) 5限 (14:40～16:10)	千葉俊美教授	2. 高血圧症	ユニット5 歯科診療に影響する疾患  ユニット6 高齢者	口腔（歯科）診療を行う上で必要な高血圧症の主要症候と病態生理について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 高血圧症の病態、症候、診断 2. 高血圧症の治療ガイドライン 3. 高血圧症例での歯科治療の留意点 [E-6-②]	本態性高血圧症、二次性高血圧症、降圧薬
4月27日 (火) 4限 (13:00～14:30)	千葉俊美教授	3. 虚血性心疾患	ユニット5 歯科診療に影響する疾患  ユニット6 高齢者	口腔（歯科）診療を行う上で必要な虚血性心疾患の主要症候と病態生理について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 虚血性心疾患の病態、症候、診断 2. 胸痛を訴える患者の対応と鑑別疾患 3. 虚血性心疾患での歯科治療の留意点 [E-6-②]	狭心症、心筋梗塞症、急性冠症候群、心筋虚血、ST上昇、ST下降、血管内治療、ステント、抗血小板薬

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
4月27日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	心臓血管 外科学講座 小泉淳一 講師	4. 冠動脈バイ パス術、感 染性心内膜 炎と弁膜症 の外科		冠動脈バイパス 術、感染性心内膜 炎と弁膜症の主 要症候と病態生 理、手術方法につ いて理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 冠動脈バイパス術 2. 感染性心内膜炎 3. 弁膜症 [E-6-②]	冠動脈バイパス術、 オフポンプバイパ ス手術(OPCAB)、感 染性心内膜炎 人工弁 ワーファリン
5月11日 (火)  4限 (13:00 ～ 14:30)	千葉俊美 教授	5. 心臓弁膜症 と心不全	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な心臓弁膜症 と心不全の主要 症候と病態を理 解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 弁膜症の主要な病態、 症候、診断 2. 心不全の主要な病態、 症候、診断 3. 抗凝固療法例での歯 科治療 [E-6-②]	弁膜症、僧房弁閉鎖 不全症、大動脈弁狭 窄症、人工弁、左心不 全、右心不全、起座呼 吸、浮腫、肝腫大、抗 凝固療法、ワルファ リン
5月11日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	中居賢司 客員教授	6. 循環器疾患 診療の進歩 と歯科医療 での課題	ユニット5 歯科診療 に影響す る循環器 疾患診療 の進歩	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な循環器疾患 診療の進歩～主 要症候と病態を 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 口腔(歯科)診療に必 要な循環器疾患診療 の進歩 2. 歯科治療中の主な不 整脈発作の心電図上 の特徴 3. 心房細動での抗凝固 療法について 4. ペースメーカー、植込 み型除細動器の意義 5. 大動脈弁狭窄症での 歯科治療 [E-6-②]	期外収縮、心房細 動、心室頻拍、心室 細動、房室ブロッ ク、心臓ペースメー カー、埋込み型除細 動器(ICD)、抗凝 固療法大動脈弁狭窄 症
5月18日 (火)  4限 (13:00 ～ 14:30)	脳神経内 科・老年科 分野 前田哲也 教授	7. 神経変性疾 患、その他 の神経疾患	ユニット6 高齢者	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な脳神経系の病 態を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. Parkinson病と類縁 疾患、認知症疾患 2. その他の代表的神経 疾患 [E-6-②]	Alzheimer病と認知 症疾患、Parkinson 病と類縁疾患、神経 感染症、脱髄性疾患、 末梢神経疾患、筋疾 患
5月18日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	脳神経内 科・老年科 分野 板橋亮 教授	8. 脳血管障害	ユニット6 高齢者	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な脳血管の病態 を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 脳卒中と脳機能局在 2. 脳血管の解剖 [E-6-②]	脳血管障害(脳梗 塞、脳出血)、巣症 状
5月25日 (火)  4限 (13:00 ～ 14:30)	総合診療医 学分野 高橋智弘 講師	10. 内科救急へ	ユニット2 救急医療	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な内科救急の 主要症候と病態 の理解と対処法 を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 一次救命処置(BLS): 心肺蘇生+AED 2. 意識障害患者と窒息 患者への初期対応 3. 二次救命処置(ALS) 4. 心停止の鑑別診断 [E-6-②]	気道確保、胸骨圧 迫、人工呼吸、心室 細動、AED

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
5月25日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	救急医学 分野 井上義博 教授	9. 救急医療	ユニット2 救急医療	口腔(歯科)診療を行う上で必要な救急医療の主要症候と病態等を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 岩手医科大学の救急医療システム 2. 救急医療の現状と対応 3. 頭頸部外傷の現状と対応 4. ドクターヘリの現状 5. トリアージ [E-6-②]	救急医療、救急医療システム、頭頸部外傷、交通外傷、ドクターヘリ、トリアージ
6月1日 (火)  4限 (13:00 ～ 14:30)	外科学講座 片桐弘勝 講師	11. 臓器移植		口腔(歯科)診療を行う上で必要な臓器移植について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 臓器移植の歴史 2. 臓器移植法 3. 拒絶反応 4. 移植片対宿主病 5. 肝臓移植 6. 肝臓移植例での歯科治療 [E-6-②]	移植、免疫抑制剤、肝硬変、黄疸、意識障害
6月1日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	中里龍彦 非常勤講師	12. 頭頸部の画像診断と治療への応用		口腔(歯科)診療を行う上で頭頸部腫瘍の画像診断により病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 口腔と周辺臓器の画像解剖 2. 頭頸部腫瘍の画像所見 3. 悪性腫瘍の病期分類 4. 頭頸部領域の Interventional Radiology (IVR) [E-6-②]	画像解剖、腫瘍の画像診断、病期分類、IVR
6月8日 (火)  4限 (13:00 ～ 14:30)	田中良一 教授	13. 救急の画像診断		口腔(歯科)診療を行う上で必要な救急あるいは併存症の画像診断について理解する	以下の項目について説明できる。 1. アレルギーにより生じる画像所見 2. 誤嚥・誤飲による画像所見 3. 併存症の急変時画像所見 [E-6-②]	肺水腫、ARDS、誤嚥性肺炎、異物誤飲、気胸、縦隔気腫、急性大血管疾患
6月8日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	呼吸器内科 分野 内海 裕 助教	14. アレルギー疾患へのアプローチ	ユニット5 歯科診療に影響する疾患	口腔(歯科)診療を行う上で必要なアレルギー疾患の主要症候と病態、緊急の対応法を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. アレルギーの分類、機序と代表的疾患 2. 気管支喘息の病態 3. アナフィラキシーショックの病態 [E-6-②]	気管支喘息、アナフィラキシーショック、薬物アレルギー
6月15日 (火)  4限 (13:00 ～ 14:30)	千葉俊美 教授	15. 消化器良性疾患		口腔(歯科)診療を行う上で必要な消化器疾患について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 胃酸・消化の機能 2. 消化性潰瘍の発生機序と鎮痛・消炎薬 3. ピロリ菌感染症 4. 消化管憩室 [E-6-②]	胃酸分泌機構、消化性潰瘍、消化性潰瘍の発生機序、ピロリ菌感染症、アラキドンサンカスケード、憩室症

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
6月15日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	消化器内科 肝臓分野 柿坂啓介 講師	16. 肝疾患		口腔（歯科）診療を行う上で必要な肝、胆、膵疾患について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 肝臓、胆嚢、膵臓の構造、機能、病態 2. 肝機能・肝障害の評価方法 3. 慢性肝疾患の主要な症候、病態 4. 肝硬変の病態 [E-6-②]	肝機能、肝障害 ウイルス肝炎(B型およびC型肝炎ウイルス)、非アルコール性脂肪肝、肝硬変、肝癌
6月22日 (火)  4限 (13:00 ～ 14:30)	外科学講座 佐々木章 教授	17. 消化器疾患 と外科治療		口腔（歯科）診療を行う上で必要な消化器疾患と外科治療について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 消化器疾患の主要な病態と症候 2. クリニカルパス 3. 内視鏡外科手術 4. 全身管理に注意すべき消化器疾患 5. 高齢者歯科診療で注意すべき消化器疾患 [E-6-②]	消化器疾患、貧血、黄疸、術前管理、術中管理、術後管理
6月22日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	田中良一 教授	18. PET 診療の 基礎知識		がん診療におけるPETの役割と限界を理解する。	PETの以下の項目について説明ができる。 1. 画像化の原理 2. 偽陽性と偽陰性 3. 検査の前処置 4. 医療従事者の放射線防護 5. 検査の適用 [E-6-②]	ポジトロンエミッショントモグラフィ(PET)、悪性腫瘍、炎症、放射線防護、適用
6月29日 (火)  4限 (13:00 ～ 14:30)	千葉俊美 教授	19. 上部消化器 悪性疾患		口腔（歯科）診療を行う上で必要な上部消化器悪性疾患について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 食道の解剖、機能 2. 食道癌の危険因子、疫学、検査、治療 3. 胃の解剖、機能 4. 胃癌の危険因子、疫学、検査、治療 [E-6-②]	食道癌、胃癌
6月29日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	外科学講座 大塚幸喜 准教授	20. 下部消化管 疾患と外科 治療		口腔（歯科）診療を行う上で必要な下部消化管疾患と外科治療について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 大腸の解剖、機能 2. 大腸癌の危険因子、疫学、検査、治療 3. 大腸ポリープ・ポリポシス [E-6-②]	大腸癌、Peutz-Jeghers 症候群、Gardner 症候群
7月6日 (火)  4限 (13:00 ～ 14:30)	整形外科 講座 村上秀樹 教授	21. 整形外科 総論 - 骨 粗しょう症		口腔（歯科）診療を行う上で必要な整形外科の意義を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 整形外科的疾患の主要徴候と病態の概要 2. 骨粗しょう症と治療（ビスフォスフォネート） 3. 頸椎症性脊髄・神経根症と治療 [E-6-②]	整形外科的疾患、骨粗しょう症、ビスフォスフォネート、顎骨壊死、頸椎症、脊髄症、神経根症、ロコモティブシンドロームと腰痛疾患

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
7月6日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	整形外科学 講座 大竹伸平 助教	22. 関節リウマ チと外科治 療		口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な関節リウマ チの病態と外科 治療を理解す る。	以下の項目につ いて説明できる。 1. 関節炎の概 要 2. 関節リウマ チの概要と治 療 [E-6-②]	関節炎、関節リ ウマチ、脊髄障 害、開口障害、 嚥下障害
7月13日 (火)  4限 (13:00 ～ 14:30)	血液腫瘍 内科分野 佐々木了政 助教	23. 血液疾患と 骨髄移植	ユニット5 歯科診療に影 響する疾患	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な血液疾患の 病態と骨髄移植 を理解する。	以下の項目につ いて説明できる。 1. 血液細胞の 基本的な機能 2. 白血病の主 要な症候、病 態と歯科治療 上の留意点 3. 骨髄移植 [E-6-②]	白血病、急性 骨髄性白血病、 急性リンパ性 白血病、ATL、 悪性リンパ腫 骨髄移植
7月13日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	鈴木 順 客員准教授	24. 心身医学総 論	ユニット8 心身医療と 歯科心身症	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な心身医学的 疾患の主要症 候と病態を理 解する。	以下の項目につ いて説明できる。 1. 心身症の定 義 2. bio-psycho- social medical model 3. 主要な歯科 心身症の疾患 名、症候、対 応 [E-6-②]	心身症・心身 医学 口臭症、舌痛 症、顎関節症、 口腔異常感 症、味覚異常、 歯科恐怖症
7月20日 (火)  1限 (8:50～ 10:20)	千葉俊美 教授	25. 膠原病疾患 と後天性免 疫不全症候 群	ユニット5 歯科診療に 影響する疾 患	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な代表的な 膠原病やHIV 感染、AIDSの 主要症候と病 態を理解する。	以下の項目につ いて説明できる。 1. 関節リウマ チ、SLE、シェ ーグレン症候 群などの代表 的膠原病の症 状と合併症 2. HIV感染、 AIDSの主要 症候 3. ドライマウ スの症状およ び機序 [E-6-②]	膠原病、リウ マチ性疾患、 SLE、シェーグ レン症候群、 HIV感染、 AIDS、ドライ マウス
7月20日 (火)  2限 (10:30 ～ 12:00)	千葉俊美 教授	26. 赤血球の疾 患		口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な赤血球の 機能と血液疾 患の病態を理 解する。	以下の項目につ いて説明できる。 1. 貧血の症 候、病態 2. 鉄欠乏性 貧血 3. 再生不良 性貧血 4. 悪性貧血 5. Plummer- Vinson 症 候群 [E-6-②]	鉄欠乏性貧血、 再生不良性貧 血、巨赤芽球 性貧血、悪性 貧血 Plummer- Vinson 症 候群
7月20日 (火)  3限 (13:00 ～ 14:30)	頭頸部外 科学科 志賀清人 教授	27. 咽喉頭解剖 生理と疾患		口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な咽喉頭解 剖生理と疾患 を理解する	以下の項目につ いて説明できる。 1. 咽喉頭の 解剖と生理 2. 嚥下のメ カニズム 3. 反回神経 麻痺の原因と 症状 4. 咽喉頭の 疾患の症状と 治療 [E-6-②]	咽喉頭、嚥下 のメカニズム、 反回神経麻痺、 咽喉頭の疾患

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
7月20日 (火)  4限 (14:40 ～ 16:10)	耳鼻咽喉科 学講座 桑島 秀 助教	28. 鼻・副鼻 腔解剖生理 と疾患		口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な鼻・副鼻腔 の解剖生理と疾 患を理解する	以下の項目につ いて説明がで きる。 1. 鼻・副鼻腔 の解剖と生理 2. 鼻・副鼻腔 の疾患の症状 と治療 3. 食道異物、 気管支異物に 対する検査・治 療 [E-6-②]	鼻・副鼻腔の疾 患 食道異物、気 管支異物
8月17日 (火)  4限 (13:00 ～ 14:30)	耳鼻咽喉科 学講座 平海晴一 准教授	29. 聴覚・平衡 解剖生理		口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な聴覚・平衡 解剖生理の意義 を理解する	以下の項目につ いて説明がで きる。 1. 側頭骨解剖 2. 伝音機構 3. 内耳の聴覚 ・平衡生理 4. 聴覚検査 [E-6-②]	側頭骨解剖、 伝音機構、 内耳、平衡生 理、 聴覚検査、 難聴
8月17日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	外科学講座 佐々木章 教授	30. 内分泌・代 謝疾患と外 科治療		口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な内分泌・代 謝疾患の病態、 周術期管理と治 療について理解 する。	以下の項目につ いて説明がで きる。 1. 甲状腺・副 甲状腺の解剖 と生理 2. 膵臓の解剖 と生理 3. 副腎の解剖 と生理 4. 肥満症の病 態 5. 口腔症状を 呈する内分泌 ・代謝疾患 6. 甲状腺機能 亢進症の周術 期管理と治療 7. 肥満症の周 術期管理と治 療 [E-6-②]	体重減少、体 重増加、頰脈 、徐脈、血圧 上昇、下痢、 甲状腺機能亢 進症、甲状腺 機能低下症、 副甲状腺機能 亢進症、 Cushing病、 アルドステロ ン症、糖尿病
8月31日 (火)  4限 (13:00 ～ 14:30)	脳神経外科 学講座 小笠原邦昭 教授	31. 脳血管障害 の病態と外 科治療およ び意識障害 (脳死)		口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な脳血管障害 の病態と外科治 療および意識障 害(脳死)につ いて理解する。	以下の項目につ いて説明がで きる。 1. 脳卒中の病 態(脳内出血 、くも膜下出 血、脳梗塞) 2. 脳血管障害 の外科治療 (脳動脈瘤、 頸動脈硬化症 、内膜剥離術) 3. 意識障害の 機構 4. 脳死の判定 [E-6-②]	脳卒中、脳内 出血、くも膜 下出血、脳梗 塞、心原性脳 塞栓症、凝固 線溶、抗凝固 薬、抗血小板 薬、脳動脈瘤 、脳動脈瘤ク リップ、頸動 脈硬化症、内 膜剥離術、遷 延性植物状態 、脳死
8月31日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	千葉俊美 教授	32. 糖尿病、高 脂血症への アプローチ	ユニット5 歯科診療に 影響する疾 患	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な糖尿病、高 脂血症の主要症 候と病態を理 解する。	以下の項目につ いて説明がで きる。 1. 糖代謝の主 要な症候、病 態 2. 高脂血症の 主要な症候、 病態 [E-6-②]	糖尿病、ラン ゲルハンス島 、経口糖尿病 薬、インスリン 、低血糖、低 血糖症、糖尿 病の慢性合併 症(網膜症、 腎症、神経障 害)、易感染 性、 糖・脂質代謝

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
9月7日 (火)  4限 (13:00 ～ 14:30)	千葉俊美 教授	33. 内 分 泌 疾 患・甲状腺 疾患	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な代謝性疾患 と甲状腺疾患の 主要症候と病態 を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 代謝疾患の主要な症 候、病態 2. 甲状腺疾患の主要な 症候、病態 [E-6-②]	甲状腺機能亢進症、 バセドウ病、甲状腺 機能低下症、原発性 アルドステロン症、 クッシング症候群、褐 色細胞腫
9月7日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	医療開発 研究部門 西塚 哲 教授	34. 腫 瘍 の 発 生、転移、が ん遺伝子と 化学療法		口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な腫瘍の発生、転 移、がん遺伝子 の意義を理解す る。	以下の項目について説 明ができる。 1. 腫瘍の概念、病因 2. 腫瘍の発育様式、転移 3. がん遺伝子・がん抑制 遺伝子 4. 悪性腫瘍の症候、病態 と診断 5. 抗癌剤の種類と作用 機序 [E-6-②]	腫瘍、転移、がん遺伝 子、がん抑制遺伝子、 アポトーシス、分子 標的マーカー、化学 療法
9月14日 (火)  4限 (13:00 ～14:30)	千葉俊美 教授	35. 身体所見と リスク評価 と内科救急 疾患と主要 徴候		歯科診療時に全 身状態を把握 し、内科疾患と 症候の理解。特 に緊急性の高い 疾患について理 解する。	以下の所見と症候の発 現機序を説明し、代表的 疾患を列挙できる。 1. バイタルサイン（体 温、脈拍、血圧、呼吸） の原理と測定 2. 胸痛、ショック 3. 頭痛、意識障害 4. 呼吸困難、出血 [E-6-①, E-6-②]	バイタルサイン（体 温、脈拍、血圧、呼 吸）、眼瞼結膜、眼球 結膜、口唇チアノー ゼ、狭心症、心筋梗 塞、自然気胸、脳梗 塞、脳出血、過換気症 候群、喘息発作
9月14日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	腎・高血圧 内科 旭 浩一 教授	36. 腎疾患	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患  ユニット6 高齢者	口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な腎疾患の主 要症候と病態、 治療を理解す る。	以下の項目について歯 科診療との関連を説明 できる。 1. 腎疾患の主要症候と 腎機能検査 2. 腎・尿路系の主要な症 候、病態、治療（ステ ロイドを含む） [E-6-①, E-6-②]	蛋白尿、血尿、脱 水、浮腫、糸球体濾 過値(GFR)、クレア チニンクリアランス (Ccr)、糸球体腎 炎、ネフローゼ症候 群、慢性腎臓病、急 性腎障害、ミネラル 骨代謝異常、ステロ イド療法、透析
9月28日 (火)  4限 (13:00 ～14:30)	外科学講座 鈴木 信 准教授	37. 小児外科疾 患		口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な小児外科疾 患について理解 する。	以下の項目について説 明できる。 1. 代表的な小児外科 疾患 2. 新生児・小児に対 する周術期管理の 注意点 [E-6-②]	嘔吐、チアノーゼ、 黄疸
9月28日 (火)  5限 (14:40 ～ 16:10)	超高磁場M R I 診断・ 病態研究部 門 佐々木真理 教授	38. 超 高 磁 場 MRI の現状 と臨床応用		口腔（歯科）診 療を行う上で必 要なMRI画像診 断の基礎知識と 臨床的意義を理 解する。	以下の項目について説 明できる。 1. MRIの原理 2. 脳画像所見 3. 機能的MRI 4. 頭頸部疾患のMRI [E-6-②]	MRI、超高磁場、脳 画像、機能的 MRI、頭頸部疾患

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
10月19日 (火)  4限 (13:00 ~14:30)	千葉俊美 教授	39. 出血性疾患 と抗凝固・ 抗血小板療 法	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔(歯科)診療 を行う上で必要 な出血性疾患、凝 固・線溶系の主 要症候と病態を 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 出血傾向をきたす疾 患の概要 2. 特発性血小板減少性 紫斑病 3. 血友病、Von Willebrand病など 4. 種性血管内凝固症候 群(DIC) 5. 凝固・線溶系の主要な 症候、病態 6. 抗凝固療法や抗血小 板療法 [E-6-②]	特発性血小板減少性 紫斑病、血友病、播 種性血管内凝固症候 群(DIC)、凝固因 子、抜歯後出血 ワルファリン、アス ピリン、クロピドグ レル、シロスタゾー ル、抗凝固療法、抗 血小板療法
10月19日 (火)  5限 (13:00 ~14:30)	千葉俊美 教授	40. 胆・膵疾患		口腔(歯科)診療 を行う上で必要 な胆・膵疾患 の主要症候と病 態を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 胆道疾患の主要な症 候、病態 2. 膵疾患の主要な症候、 病態 [E-6-②]	胆嚢結石症、総胆管 結石、急性胆嚢炎、 急性胆管炎、胆嚢 癌、胆管癌、急性膵 炎、慢性膵炎、膵癌
10月26日 (火)  4限 (13:00 ~14:30)	千葉俊美 教授	41. 最近話題の 消化器疾患		口腔(歯科)診療 を行う上で必要 な最近話題の 消化器疾患の主 要症候と病態を 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 機能性消化管疾患の 主要な症候、病態 2. 慢性便秘症の主要な 症候、病態 [E-6-②]	機能性ディスぺプシ ア、過敏性腸症候群、 慢性便秘症、腸内細 菌
10月26日 (火)  5限 (14:40 ~16:10)	祖父江憲治 学長	42. 特別講演  医療人とし ての心構え				



## 教科書・参考書

書名	著者氏名	発行所	発行年
☆歯科内科 (教) 歯科医師のための内科学 (第1版)	千葉俊美, 山田浩之 編	医歯薬出版	2021年
Little and Falace's Dental Management of the Medically Compromised Patient 9th ed.	James W. Little et al.	Mosby	2017年
内科学 11版	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2017年
今日の治療薬:解説と便覧 2020 年版	浦部晶夫ほか編	南江堂	2020年
☆外科学 標準外科学 15版	北野正剛監修 坂井義治ほか編集	医学書院	2019年
☆皮膚科学 歯科医のための皮膚科学 2版	山崎雙次ほか編	医歯薬出版	2004年
☆整形外科学 標準整形外科学 13版	松野丈夫、中村利孝 総編集	医学書院	2017年
☆耳鼻咽喉科学 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 3版	鈴木淳一、中井義明、平野実 著	医学書院	1997年

## 成績評価方法

定期試験（前期試験 1/2, 後期試験 1/2） 100%  
\*各科より講義数に応じた問題数による総合試験を実施